

# 学校だより～錦波の丘～

R8. 1. 27

## ○令和8年もよろしく願いいたします。

令和8年が始まり、もう1カ月が過ぎようとしています。西岐波中学校では、生徒たちが落ち着き、3学期の生活をスタートしています。冬休みの間に新しい生徒会役員の生徒たちのリーダー研修会が行われ、年間目標や取り組んでいきたいことを考え、先日の生徒集会で11名の役員の生徒たちが自分の言葉で、全校生徒に話してくれました。

今年の生徒会年間目標は右のとおりです。

「Start up」には「飛び立つ」「起動する」という意味があり、サブテーマの「自分たちの手で切り拓く未来」と併せて、新しい役員の生徒たちが、これからの西岐波中学校を、また、西岐波地区、常盤地区を自分たちの力でさらに「より良い場所にしよう」と考えてくれていることが、この年間目標を彼らが提案するために校長室に来てくれて、想いを聞く中で感じ取ることができました。

昨年の生徒会役員の生徒たちが地域行事に参画し、想いを具現化してくれたように、新しいリーダーたちの想いも、今後、西岐波地区、常盤地区の方々と協働しながら、具現化していきたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様、今年も西岐波中学校の生徒たちの取組へ温かい見守りとご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

## ○宇部市立中学校の部活動の方向性が議会で答弁されました。

部活動の地域展開が始まり、本校では野球部が令和6年度の新人大会から東岐波中学校との合同チームで各種大会に参加し、令和7年4月から「岐波クラブ」という地域クラブでの活動が始まりました。そのため、野球部の新入部員募集は今年度からしていません。

同じく、令和7年度の新人大会からサッカー部が常盤中学校との合同チームで各種大会に参加し、令和8年1月から「宇部サッカークラブ」が立ち上がり、数名が地域クラブでの活動を始めました。

このように本校でも単独でチームを組むことができずに合同チームでの活動が始まり、地域クラブの立ち上げとともに、部員の入部の募集を停止することが始まりました。先日の入学説明会で現小学6年生の保護者の方々にはお伝えしましたが、4月からサッカー部の新入部員の募集はしないことに決めました。

地域クラブのメリットは、その種目で活動したいという希望者が一定数集まり、人数不足による合同チームで大会に参加することがなくなることが一番大きいと思います。また、指導者資格をもった指導者からその種目のおもしろさや、技術指導を十分に受けることもできます。さらに、活動時間が平日でも2時間程度は確保されることなどがあります。中学校の部活動では大会前の延長練習でも、この時期は日没の時間のこともあり、平日に1時間程度しか練習時間が確保できません。

このような状況もあり、昨年12月の宇部市議会で市長さんや教育長さんから「宇部市立中学校の部活動は令和11年度末をもって終える」という答弁がなされました。

新入部員の募集をする部活動については、地域クラブができた場合も部員生徒たち、保護者の方々と地域クラブに移るのか、残ってできる活動を続けるのかについての意向を確認させていただきながら体制を考えていくようにします。

この件につきまして、何かご不明な点がございましたら中学校（51-9052 担当：校長）まで連絡してください。

## ○子ども豊かな心の育ちを考える会で詩の発表をしました。

去る1月17日（土）に宇部市福祉ふれあいセンターふれあいホールにて、「子どもの豊かな心の育ちを考える会」が開催され、本校から4名の生徒たちが詩の発表をしました。

発表は「草に寝て……六月の或る日曜日に」という立原 道造さんの詩でした。詩の選択も、発表するパートも4人で決め、当日の発表に臨んでくれました。

詩の発表には市内の小学生や中学生が合わせて13名参加しました。どの発表もすばらしく、どの発表にも会場から大きな拍手が送られました。

今年も本校生徒たちが多くの場面で活躍してくれることが、今から楽しみです。保護者の皆様、地域の皆様、生徒たちへの声援を今年もよろしく願いいたします。

